

高齢者施設での感染症対策について

～流行しやすい病気の特徴もふまえて～



JA岐阜厚生連 中濃厚生病院
感染管理認定看護師 和田 葵

高齢者介護施設の特徴

- 入所者や通所者は、抵抗力が弱い高齢者
- 感染すると重症化しやすい
- 集団で生活しているため、感染拡大のリスクが高い
- 症状がはっきりせず診断が遅れやすい
- 認知機能が低下している場合は、衛生管理や感染対策への協力が得られにくい

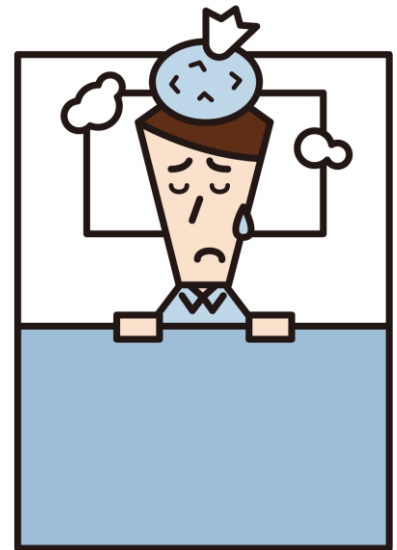


感染対策の 基本的な知識

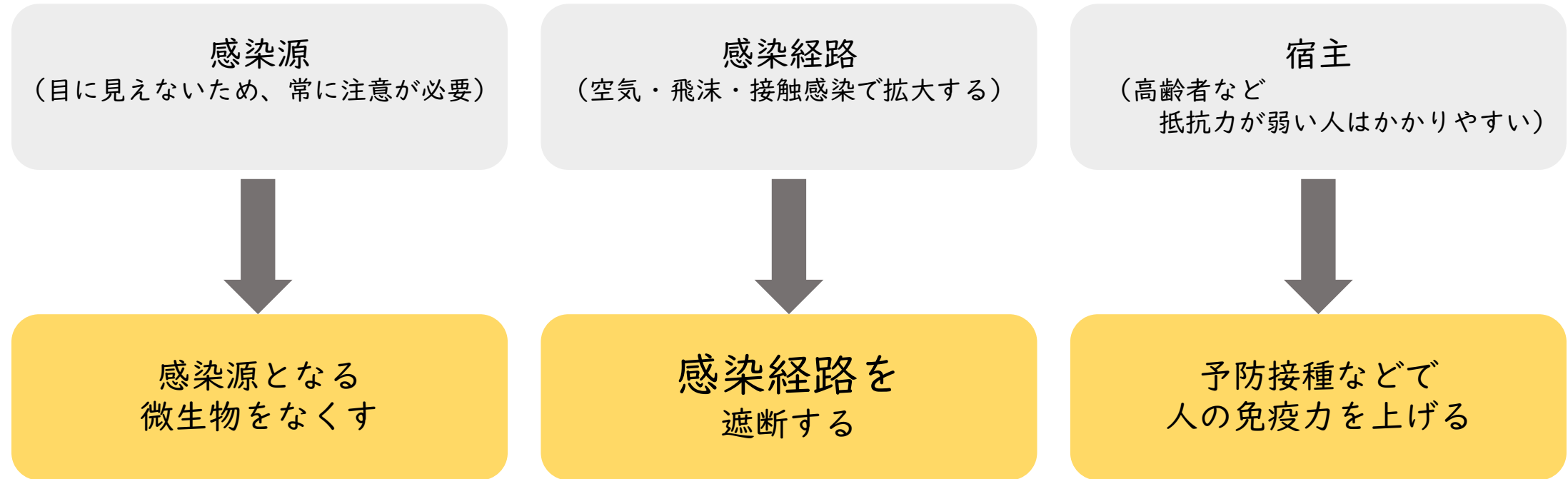
感染症とは

私たちの周りには様々な微生物がいます。
その微生物が人の体の中に入り、増殖して
様々な症状を引き起こす病気のことです。

微生物の種類や人の免疫力・抵抗力等によって、
感染経路や潜伏期間、症状が異なります。



感染が成立する3つの要因と対策



この3つの要素がそろって感染が成立する⇔このうちのどれか1つでも欠けると感染を防ぐことができる

高齢者施設における感染対策の基本

病原体を
持ち込まない



病原体を
持ち出さない



病原体を
拡げない



これらを日頃から意識して実践することがとても大切です

標準予防策と 感染経路別予防策

標準予防策とは

- 標準予防策とは、「感染症のある・なしに関わらず、汗以外のすべての体液（血液・唾液・分泌物（痰等）・おう吐物・排泄物（尿・便）・創傷皮膚・粘膜等）は感染する原因となるため、いつも感染する危険性があるものとして取り扱う」という考え方で、**感染対策の基本**となります。

標準予防策で必ず伝えたいポイント4点

- I. 素手で触らないように気を付ける
- II. 適切な手指衛生（手洗いや手指の消毒）を行う
- III. 利用者の健康管理を行う
- IV. 職員の健康管理を行う



標準予防策で必ず伝えたいポイント4点

- I. 素手で触らないように気を付ける
- II. 適切な手指衛生（手洗いや手指の消毒）を行う
- III. 利用者の健康管理を行う
- IV. 職員の健康管理を行う



素手で触らないように気を付ける

- 血液などの体液はすべて感染性があるものとみなし、必ず手袋を着用して素手で触らないようにしましょう
- 目や鼻、口腔や陰部などの粘膜に触れる時は、必ず手袋を着用して素手で触らないようにしましょう
- 傷口や発疹などに触れる時は、必ず手袋を着用して素手で触らないようにしましょう



手袋を着用する時の注意点



同じ手袋を着用したまま、連続していくつもの作業を行わない



手袋の上からの消毒は、実施しない



手袋を外した後は、必ず手洗いか消毒を行いましょう

標準予防策で必ず伝えたいポイント4点

- I. 素手で触らないように気を付ける
- II. 適切な手指衛生（手洗いや手指の消毒）を行う
- III. 利用者の健康管理を行う
- IV. 職員の健康管理を行う



いつ
行う？

手指衛生5つのタイミング

忘れず
実施!

おむつ交換や排泄介助(尿や便で汚染)、喀痰吸引(唾液や分泌物で汚染)、口腔ケア(唾液や血液で汚染)など、身近なケアによって、手指が汚染される可能性があります。各タイミングで、正しく手指衛生を行いましょう。

タイミング例



手指衛生が必要なタイミングとその目的

No.	手指衛生のタイミング	目的
1	利用者に触れる前	職員の手指を介して感染する病原体から利用者を守るため
2	清潔な物に触れる前	職員が触れた物を介して利用者が病原体に感染することを防ぐため
3	血液や唾液、痰、おう吐物や排泄物、傷口や口等に触れた後又は触れた可能性があるとき	利用者の身体や利用者が触れた物に付着している病原体から職員と施設の環境を守るため
4	利用者に触れた後	
5	利用者の周辺の物に触れた後	



移動の介助前
検温前

食事介助前
口腔ケア前

排泄介助後

検温後
足浴後

車いすを
移動させた後

必要なタイミングで手指衛生ができる環境づくり

利用者の居室前や食卓など
職員のケアの動線上に常設する



ケアの道具と
一緒に持ち運ぶ

利用者が誤飲する可能性があり
常設できない場合等は
職員個人で携帯する



ベルトやポケットに
フックやリールで
取りつける



ポシェットに
入れる
※ポシェットは定期的
に洗濯しましょう

使用後は洗浄し、完全に乾燥してからあたらしい薬液を補充してください

施設全体で手指衛生の推進を行いましょう

手も気持ちもぴっかぴか!!



看護部長 大野 貴子
病院長 勝村直樹
事務局長 天野 裕久

5つのタイミングで
手指衛生を行いましょう!

JA 岐阜厚生連
Chuno Kosei Hospital 中濃厚生病院
感染管理対策室

30秒で選ぶメニュー
今日は何バーガーの気分ですか?

バリューセット Value Set ¥500~

ビッグマック ¥690	チキンフィレオ ¥660	スパチキ スムージー付き ¥500	グランクラブハウス ¥790
ダブルチーズバーガー ¥640	てりやきチキンフィレオ ¥670	エグチ エッグ・ステーキ ¥500	シランバーエッグ ¥690
てりやきマックバーガー ¥640	バーコンタスバーガー ¥660	チキチキ サンドイッチ ¥500	期間限定 シランバーエッグ ¥690
フィレオフィッシュ ¥640	えびフィレオ ¥680	マクボク サンドイッチ ¥500	期間限定 シランバーエッグ ¥690
¥340	¥350	¥390	期間限定 シランバーエッグ ¥690

リンクスタッフ
放射線科 辻 笹田
リハビリテーション科

君たちは
どうするか
洗うか

令和5年ICT委員会



標準予防策で必ず伝えたいポイント4点

- I. 素手で触らないように気を付ける
- II. 適切に手指衛生（手洗いや手指の消毒）を行う
- III. **利用者の健康管理を行う**
- IV. 職員の健康管理を行う



利用者の体調をどのように確認していますか？

感染症の疑いがあることを「早期発見」することが
感染症の拡大防止に大きな影響を与えます

脈が速い・遅い

呼吸が速い

発熱や咳・痰

皮膚の異常
(発疹・発赤・腫れ等)

下痢やおう吐

元気がない

体重の減少

何かおかしい

また、このような症状を見つけたときやインフルエンザなどの感染症情報を入手した時に、施設内でどのように情報を共有するのかを決めて対応することが大切です

いつも介護しているみなさんだから分かること

日々の介護を行う中で些細な変化に気が付くことができるのは、日頃から利用者の生活を見守っているみなさんだからこそだと思います。



日常のトイレ誘導やオムツ交換などのケア時は、身体を観察できる大切な機会です。ぜひ、日頃から感染対策の視点をもって観察してみてください。

必ず伝えたいポイント4点

- I. 素手で触らないように気を付ける
- II. 適切に手指衛生（手洗いや手指の消毒）を行う
- III. 利用者の健康管理を行う
- IV. 職員の健康管理を行う**



利用者以外の体調管理はできていますか？

職員

- 発熱など、体調不良がある場合、管理者へ報告し出勤を控える
- 同居するご家族に感染症症状がある場合には報告する
- 定期的な健康診断を受ける

面会者

- 検温や体調の確認を行う
- 同居するご家族に感染症症状がないか確認する
- 例えば職場や学校などで感染症が流行していないか確認する
- 面会後の体調不良時の連絡について依頼する

地域の感染症流行状況を確認しましょう

岐阜県 リアルタイム



<圏域・流行状況>

中濃圏域合計(3.6)

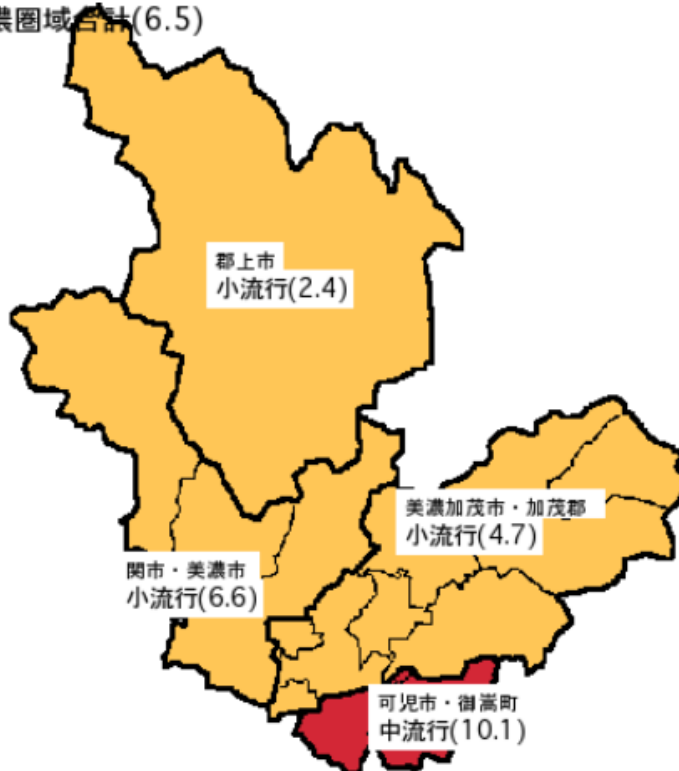


凡例： 流行なし 注意 小流行 中流行 大流行

11/27 (水)

<圏域・流行状況>

中濃圏域合計(6.5)



凡例： 流行なし 注意 小流行 中流行 大流行

12/4 (水)

<圏域・流行状況>

中濃圏域合計(10.5)



凡例： 流行なし 注意 小流行 中流行 大流行

12/11 (水)

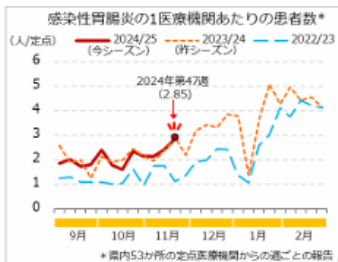
「ぎふ感染症かわら版」も活用しましょう

ぎふ感染症かわら版

令和6年11月28日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

県内にノロウイルス食中毒注意報が発表されました！

冬はノロウイルスによる食中毒が発生しやすい季節です。その流行の指標となる感染性胃腸炎の患者数が11月上旬から県内で少しずつ増加しています。そのため11月28日に「ノロウイルス食中毒注意報」が発表されました。以下のことを参考に、日常での感染予防をお願いします。



どんな病気？

潜伏期間は1～2日で、吐き気、おう吐、下痢、腹痛などの症状があらわれます。

通常は1～2日で症状は治まりますが、小さいお子さんや高齢の方は、おう吐・下痢による脱水や、おう吐物による騒息に注意が必要です。

どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染した人の便やおう吐物に含まれるウイルスが、次のような経路で他の人に感染します。

- 患者の便などに含まれるウイルスが、人の手などを介して口に入り感染する
- 感染した人が十分な手洗いをせずに調理をして食品を汚染し、その食品を加熱せずに食べて感染する
- 便やおう吐物が適切に処理されず、床などに残ったウイルスが乾燥して空気中に漂い、それを口や鼻から吸い込んで感染する

また、カキなどの二枚貝にはノロウイルスが潜んでいることがあり、十分に加熱しないで食べると感染することがあります。



こまめな手洗い^{※注}

特に、トイレの後、調理や食事の前などは石けんと流水で入念に手を洗いましょう。

おう吐物の処理は適切に（次ページを参考にしてください）

※注：ノロウイルスは消毒用エタノールによる消毒効果は低いとされています。そのため消毒用エタノールは、すぐに石けんによる手洗いが出来ないような場合、あくまで一般的な感染症対策の観点から手洗いの補助として用いてください。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

おう吐物の処理方法

準備するもの

- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液
- 使い捨て手袋（2組）、マスク、エプロン、シューズカバー
- ペーパータオル
- ごみ袋（2枚）とバケツ
- 水ぶき用のバケツ、ぞうきん

いざという時すぐに使えるように、あらかじめそろえておくとう便利です。

ごみ袋は、バケツに2枚重ねて用意しておくとう使いやすいです。

おう吐物の処理手順

- ① 使い捨て手袋（二重）、マスク、エプロン、シューズカバーを着け、部屋の換気をする
- ② おう吐物をペーパータオルで広めに覆い、外側から内側へと静かにふき取る
- ③ ペーパータオルと外側の手袋をごみ袋（重ねた内側の袋）へ入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を入れて浸し、袋の口を閉める
- ④ ふき取った場所に、新たにペーパータオルをかぶせ0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を浸し、10分以上そのままにして消毒する
- ⑤ ペーパータオルを回収し、ごみ袋（重ねた外側の袋）に入れる
- ⑥ エプロン、内側の手袋、マスク、シューズカバーをごみ袋（外側の袋）に入れ、袋の口を開けてそのまま捨てる
- ⑦ しっかり手洗いをする

※ 次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させたりプラスチックを劣化させたりするので、ふいた場所は後から水ぶきしましょう

次亜塩素酸ナトリウム液の作り方

家庭用の塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム濃度5～6%）を水で薄めて作ります。

0.1%液：おう吐物や便で汚れた場所に



0.02%液：床やドアノブなどの日常清掃に



※薄めた漂白剤は、時間とともに効果がなくなりますので、作り置きせずその都度作りましょう。

岐阜県感染症情報センターから不定期に発行されています。

現在の感染症の流行状況やトピックスなど多くの情報を得ることができます。

すぐに印刷して掲示ができ、情報を共有することも簡単にできます。

まだ登録されていないご施設はいかがでしょうか？

感染症を拡大させる感染経路

空気感染（漂う）



結核・麻疹（はしか）
水痘（水ぼうそう）

飛沫感染（飛ぶ）



インフルエンザ
新型コロナ
おたふく風邪
麻疹（3日はしか）等

接触感染（触れる）



ノロウイルス
疥癬
薬剤耐性菌等



各感染経路別における感染予防

	空気感染	飛沫感染	接触感染
特徴	小さな病原体が空中をふわふわ漂い、それを吸い込むことで感染する	咳やくしゃみなどで出る「しぶき」が目や鼻・口などの粘膜に飛び、感染する	病原体が直接皮膚に触れることで感染したり、物品を介して感染する
感染対策	利用者：マスク 職員：N95マスク	利用者：サージカルマスク 職員：サージカルマスク（ゴーグル）	職員：長袖ガウンや手袋
	換気	換気・距離・パーティション	環境整備

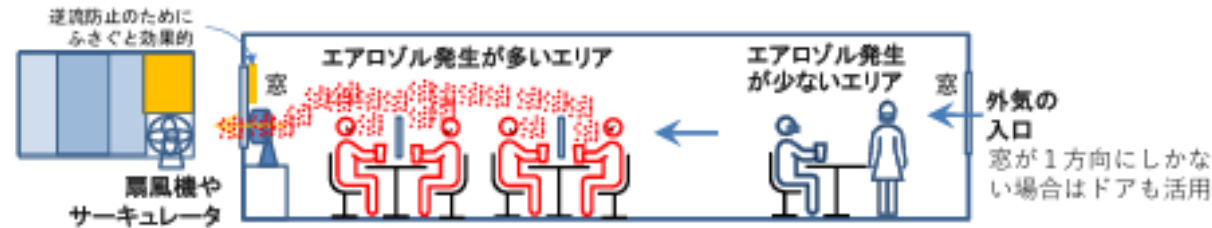
- 入所施設の場合、入所中の利用者に感染症を疑う症状が発生した段階から対策を講じることが重要です

新型コロナ対策で注目された「換気」

- 人が密集している+閉め切っている室内は、微生物の濃度が高まります
- 換気をしてその濃度を薄めることで、感染の危険性を下げることになります
- また、乾燥対策に加湿空気清浄機などを使用される場合は、加湿器の水受けやフィルターの清掃を定期的に行いましょう

窓が2方向にある場合

エアロゾル発生が多いエリアから扇風機、サーキュレータで排気し、反対側から外気を取入れる。



換気扇がある場合

換気扇で排気し、反対側から外気を取入れる。



換気扇・窓がない場合

空気清浄機でエアロゾルを捕集。



新型コロナ対策で注目された「パーティション」



- 咳で飛ぶ「しぶき」は2m未満、くしゃみで飛ぶ「しぶき」は3.5m～5m程度
- 難聴が多い高齢者の方だと、「大声で話す」も大きなリスクとなります
- マスクの着用ができない場合など、「物理的にしぶきをガードする」という意味では有用
- インフルエンザの場合など、利用者がマスクを着用できない時は、ゴーグルやフェイスシールドなどが有効です

高齢者施設で流行しやすい感染症と 対応・対策

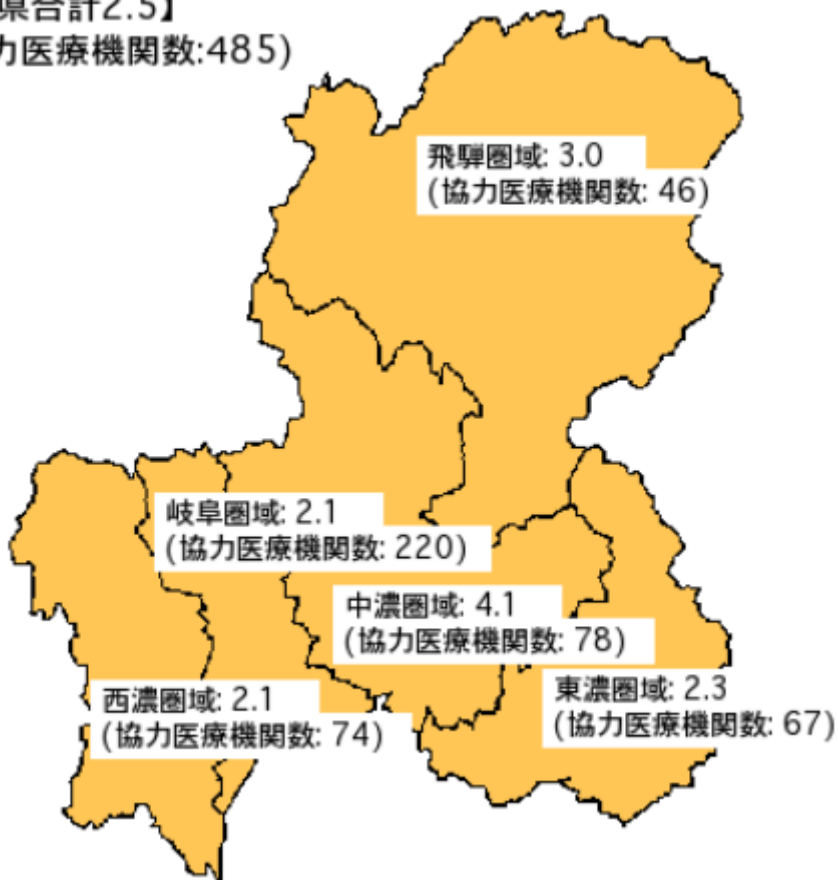
インフルエンザと新型コロナ

	インフルエンザ	新型コロナ
症状	発熱、咳、咽頭痛、関節痛等	発熱、咳、咽頭痛、頭痛等
潜伏期間	約2～3日	約2～4日
感染経路	飛沫感染（接触感染）	飛沫感染（接触感染）
感染性期間	発症前2日程度から発症後5日程度	発症前2日程度から発症後5日程度※

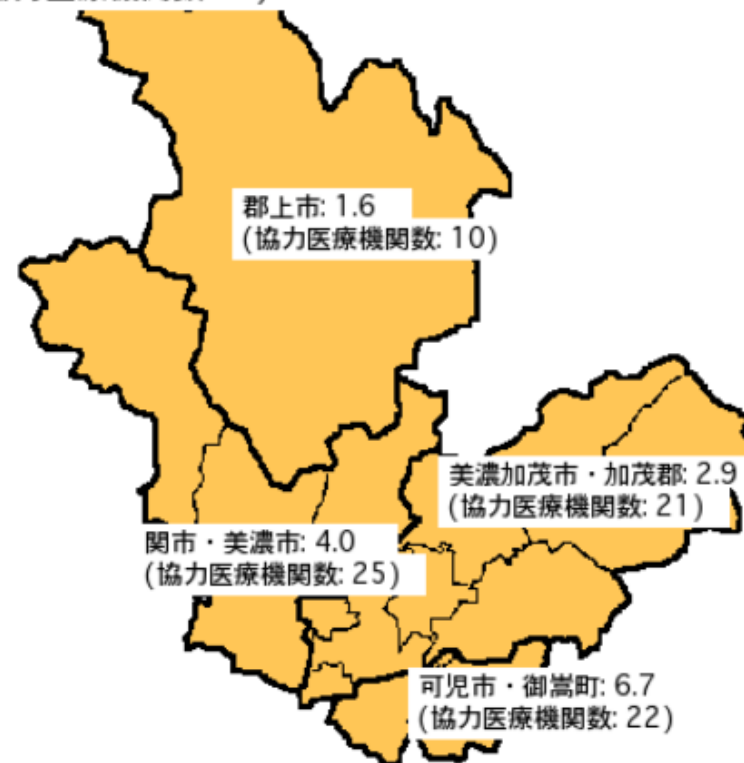
※発症後5日間が経過した後、ウイルスの排出量が大きく減少します
登校・登園の目安はここから検討されました

新型コロナウイルスの流行状況も確認できます

【全県合計2.5】
(協力医療機関数:485)



【中濃圏域合計：4.1】
(協力医療機関数:78)



※ 地図の数値は基準日からさかのぼって1週間の1医療機関当たりの合計患者数です

ノロウイルス感染症

症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱等

感染経路：接触感染が主経路

潜伏期間：約1～2日（8時間程度で発症したケースもある）

有症期間：約1～2日程度、その後治癒する

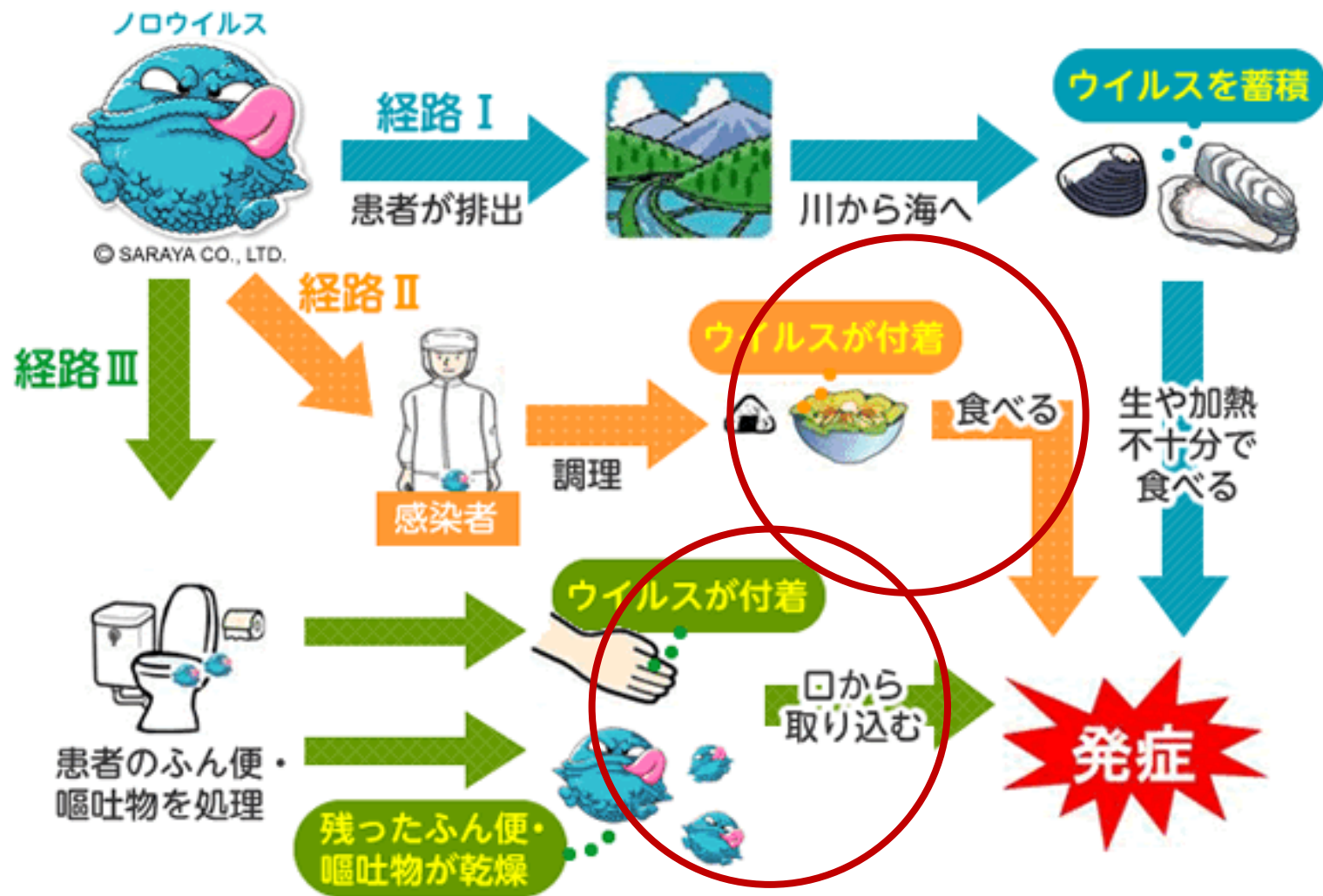
ウイルスの便中への排泄は1か月程度続く

特 長：例年11月から1月頃に多発する

感染力がかなり強い（少ないウイルス数で感染する）

アルコールの効果がほぼない

ノロウイルスの感染経路



ノロウイルス感染症の感染拡大を防ぐ

手洗い

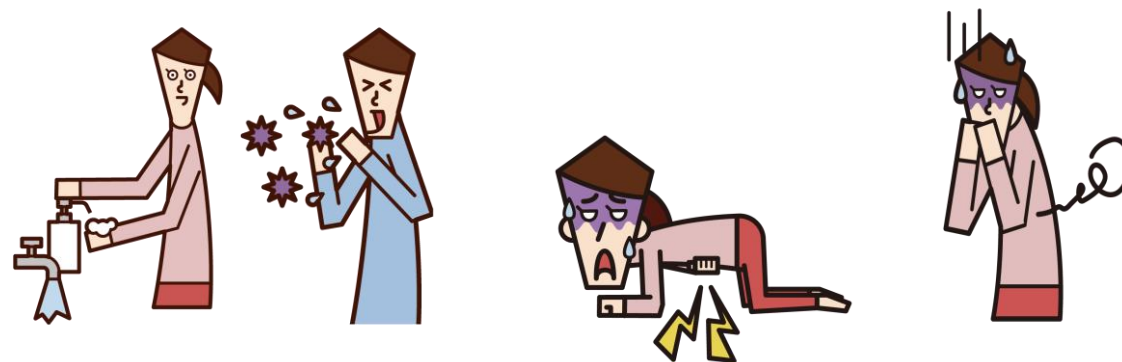
排泄物を取り扱った後や
おう吐物処理した後などは特に、
流水と石けんで手を洗いましょう

おう吐物の処理手順

おう吐物の処理手順（使用する物品の場所、
消毒薬の作り方、ゴミのまとめ方など）を決め、
同じ手順で処理できるように練習しましょう

体調が悪い時には無理をしない

職員が感染し、手などにウイルスが付着して
いると、他の職員や利用者に感染を拡げる
可能性が高まるため、無理をせず報告しましょう



疥癬

症 状：腹部、胸部、大腿内側等に紅斑、丘疹などを生じ、
激しいかゆみを伴います

感染経路：接触感染が主な感染経路

- ・皮膚が触れることによる直接接触感染
- ・リネンなどを介した間接接触感染

潜伏期間：原因となるヒゼンダニの量により異なる

感染期間：ダニがいなくなるまで

疥癬の病型

項目	通常疥癬	角化型疥癬
ヒゼンダニの寄生数	1,000以下（最大） *患者の大半がメス成虫が5匹以下	100万～200万 *1,000万以上に及ぶこともある
患者の免疫力	正常	低下している
感染させる力	弱い	非常に強い
主な症状	疥癬トンネル 小丘疹、小結節	角質増殖、疥癬トンネル、 小丘疹、小結節
症状の出やすいところ	手指、胸、太もも	手や足など
かゆみ	強い（ 夜間 が強い）	不定

施設の中などに、同じ症状（かゆみ）を訴える方がいないか確認しましょう

疥癬トンネルと角化型疥癬の所見

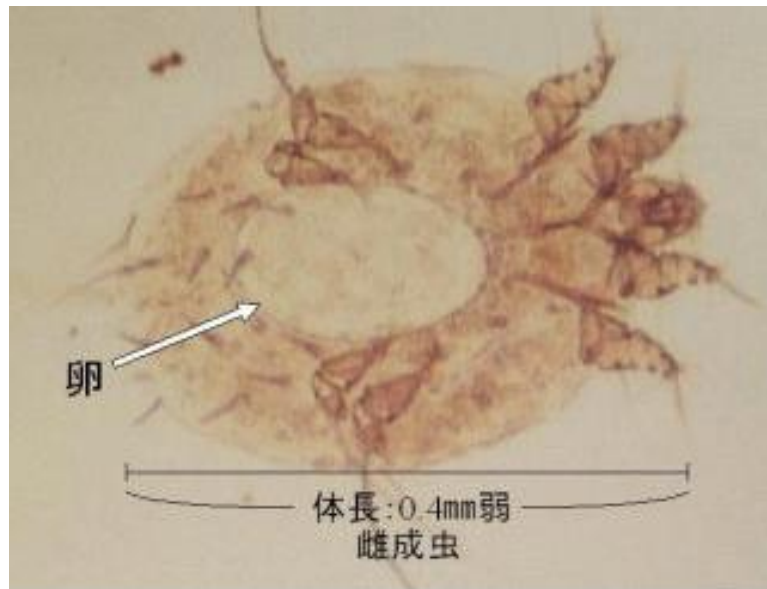


疥癬トンネル



角質層の増殖

ヒゼンダニの特徴



01 熱や乾燥に弱く、50℃では10分程度で死滅する

➡つまり、熱湯消毒が有効です

02 人の皮膚から離れると、数時間で力を失う

➡つまり、居室の床などに死骸があります

03 寒いところでは動きが弱まる

➡つまり、温かい布団などでは通常通り動きます

➡つまり、布団やシーツなどを介する感染があります

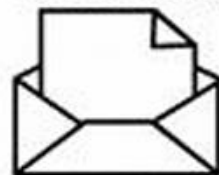
通常疥癬の感染対策

バスマット・タオル等は
共用しない



体に直接触れるものは共用しない

家族等へのお知らせ文書の作成



お知らせすることにより、利用者・
家族等の健康観察(感染の有無を確認)
を行う。また、施設の対応を家族に
理解してもらう。

シーツ・衣類等の交換



シーツ交換の目安⇒
①外用剤処置し、洗い流した後
②イベルメクチンを内服した翌日
衣類⇒入浴後に交換

衣類・オムツ等は
通常通りの方法で運ぶ



但し、日頃より洗濯物を容器に入れ
ず素手で運んでいる場合は、容器に
入れて運搬することを勧める。

角化型疥癬の感染対策（通常疥癬の対策に加える）

1～2週間の個室管理



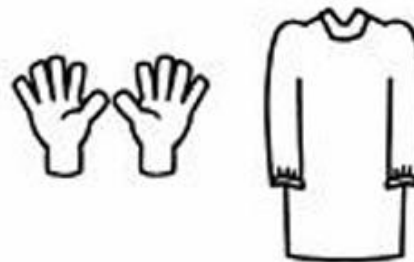
患者に使うものは専用にする
必要以上に長ならないように

①診断前に患者の使っていた部屋（1回）
②個室管理した部屋・脱衣所など
（個室管理開始時と個室管理終了時）



おおよそ1時間後に掃除機かけ

個室内でケアを行う時は、
専用の予防衣とゴム手袋を着用



衣類・オムツ等は
ポリ袋に入れて運ぶ



落屑が飛び散らないように！

シーツ・衣類等の交換



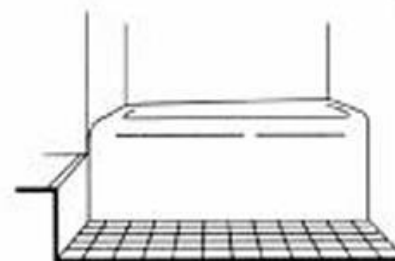
個室管理中は毎日
（1～2週間）

掃除機かけ



個室管理中の部屋と脱衣所は毎日
（1～2週間）

入浴は最後に



バスマット・タオル等は共用しない。
入浴介助時はゴム手袋を使用。

洗濯前に熱処理（50℃以上、10分）
または殺虫剤散布



シーツ・衣類等はヒゼンダニを死滅
させてから洗濯

ドライモップで集めてからの掃除機をオススメします

疥癬についてよくある質問

Q：不潔にしていると疥癬になりますか？

A：まったく関係ありません

Q：通常疥癬の場合、大部屋でも大丈夫ですか？

A：大丈夫です、衣類やシーツの管理も他の方と一緒にかまいません

Q：認知症の方が疥癬と診断された場合の対応はどうしたらいい？

A：通常疥癬の場合は大部屋の対応で良いのですが、「他人の衣服を着る」「他人のベッドにもぐる」「他人に絡みつく」などの行動がみられる場合は個室での管理を検討しましょう

Thank you for your attention!

ご清聴ありがとうございました



感染症予防への対策・感染症発生時の対策など、
不安なことやお困りのことがあれば、
お近くの医療機関の「感染管理認定看護師」までお問い合わせください。
きっと、相談に乗ってくれると思います。

施設で働くみなさんや利用者さんが安心して過ごせますように

引用・参考文献

- 高齢者施設・障害者施設向け 感染症対策ガイドブック 東京都保健医療局感染症対策部発行 2023年7月発行
- 介護現場における感染対策の手引き 第3版 厚生労働省老健局 2023年9月発行
- 高齢者介護施設における感染対策マニュアル 改訂版 厚生労働省
- 地域ケアにおける疥癬対応マニュアル 東京都作成
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tthc//kansensho/taisaku4intuition/info4shikkan/about_scabies.files/kaisenv3_P1_P10.pdf
- 障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策マニュアル 厚生労働省 障害保健福祉部作成 2020年12月
- 施設内療養時の対応の手引き 厚生労働省作成
- 日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 http://www.kankyokansen.org/other/edu_pdf/4-6_01.pdf
- 高齢者施設・障害者施設向け 感染症対策ガイドブック
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/kansenshoguidebook.files/20240201zentaiver.pdf>
- 厚生労働省 感染拡大防止のための効果的な換気について <https://www.mhlw.go.jp/content/001020788.pdf>
- 日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 http://www.kankyokansen.org/other/edu_pdf/4-6_01.pdf
- 高齢者施設・障害者施設向け 感染症対策ガイドブック
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/kansenshoguidebook.files/20240201zentaiver.pdf>
- 厚生労働省 感染拡大防止のための効果的な換気について <https://www.mhlw.go.jp/content/001020788.pdf>